

第4号議案 2022年度事業計画

1) 第66回定時総会

- ・ 2023年6月28日(水)に、第66回定時総会をハイブリッド形式にて開催する予定。

2) 出版関係

①日本画像学会誌

- ・ 2023年度分6冊を発行する。
- ・ 2022年度までと同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。

②テキスト出版

- ・ 出版委員会を組織化して、新規出版準備(「画像処理」、「有機半導体」、「3Dプリンター」)を継続する。「画像処理」については、2023年上期中の発刊を予定している。

3) Imaging Conference JAPAN 2023 (第131回日本画像学会研究討論会)

- ・ ICJ2023 (Imaging Conference JAPAN 2023)を2023年6月28日(水)、29日(木)、30日(金)の3日間、千葉大学を会場としてハイブリッド形式にて開催する。
- ・ 昨年度 ICJ2022 に引き続き、学会各委員会で編成する実行委員会が企画・運営の主体となる方式で開催する。

(企画・運営：コンファレンス委員会)

4) Imaging Conference JAPAN 2023 Fall

- ・ Imaging Conference JAPAN 2023 Fall (第132回日本画像学会研究討論会)を2023年11月21(火)、22日(水)に開催する。
- ・ この大会は、2014年度より続く画像関連学会連合会(*1)としての第9回目の秋季合同大会に相当する大会である。各学会の年次大会を併催し、相互に参加可能とすることで効果を上げてきている。2022年度は、年次大会でトラックを編成し、インタラクティブセッションは統合して実施した。2023年度もさらに魅力ある企画と運営の改善を行っていく予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1)日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・ 関東シンポジウム：2023年12月にハイブリッド形式にて、各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピックス紹介を主とした内容で開催する予定。

(企画：企画委員会)

- ・ 関西シンポジウム：2023年5月19日(金)にハイブリッド形式にて開催する予定。

(企画・運営：関西委員会)

6) 技術講習会 (年間 2 回)

- ・ 第 87 回技術講習会：2023 年 7 月 3 日(月)～7 日(金)に、ハイブリッド形式にて開催する予定。

(企画・運営：事業委員会)

- ・ 秋技術講習会：2023 年 12 月に、ハイブリッド形式にて「チュートリアル 2023」と題して開催する予定。

(企画・運営：関西委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間 2 回)

- ・ 学会誌の特集“Imaging Today”の中からテーマを取上げ、解説の執筆者を講師として、気軽なトーキングの会を 2022 年度中に 2 回開催予定。
- ・ 第 41 回フリートーキング：2023 年 9 月開催予定、テーマ企画。
- ・ 第 42 回フリートーキング：2024 年 3 月開催予定、テーマ企画。

(企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・ 技術委員会の部会ごとに下記の通り、研究会等を開催予定である。

画像感性部会セミナー/勉強会

インクジェット技術研究会

トナー技術研究会

電子ペーパー研究会

サーマル記録技術研究会

電子写真技術研究会

MBD 技術研究会

9) イメージングカフェ

- ・ 平日夕方の時間帯に、仕事帰りに気軽に立ち寄り、最新技術、昔話、他分野情報、専門知識など広範囲なテーマで講師からの話を聞いて、意見交換ができる交流空間であるイメージングカフェを、例年通りほぼ月 1 回の割で開催する予定。2023 年度は、昨年度までと同様に関西地区での開催も予定している。開催要項案は以下の通り。2023 年度中に第 100 回を迎えるためスペシャル企画を予定している。
- ・ 開催日・時間・会場：
通常企画は、金曜日 18:30～20:20、会場：オンラインまたはハイブリッド形式
スペシャル企画は、15:00～19:50、会場：オンラインまたはハイブリッド形式
*開催日時、会場は都合により変更となる場合があります。
- ・ 参加資格：どなたでもご参加可
- ・ 参加費(通常企画)：個人会員(維持会員含まず)1,000 円、個人会員以外 2,000 円
(サマー、年末スペシャルは上記参加費とは異なります。別途ご確認ください)

1 0) 関連学会との交流

- ・ 米国画像学会 IS&T が主催する国際会議 **Printing for Fabrication 2023** (2023 年秋)に協賛するとともに、この実行委員会に参画して協力する。
- ・ 国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。
- ・ 感性部会を中心として、日本視覚学会と合同セミナーの開催など継続して連携を深める。
- ・ シミュレーション技術部会を中心に、日本機械学会情報・知能・精密機器部門と連携した共同イベントを企画中である。

1 1) 「複写機遺産」認定事業

- ・ 2018 年度に、学会創立 60 周年と電子写真技術生誕 80 周年を記念して制定した「複写機遺産」認定事業を、2023 年度も継続して実施する予定である。

1 2) 4DFF 研究会

- ・ 4DFF 研究会の取り組みとして、昨年に続き、コンファレンス(4DFF2023)開催、研究会開催を予定している。4DFF2023 は、2023 年 11 月 1 日(水)、2 日(木)にブリジストングローバル研修センター(東京都港区)で開催する予定である。

2023年度学会暦

2023年5月26日

2023年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木			1								1		
金			2			1			1		2	1	
土	1		3	1		2			2		3	2	
日	2		4	2		3	1		3		4	3	
月	3	1	5	3	技術講習会	4	2		4	1 元旦	5	4	
火	4	2	6	4	技術講習会	5	3		5	2	6	5	
水	5	3 憲法記念の日	7	5	技術講習会	6	4	1 4DFFSymposium	6	3	7	6	
木	6	4 みどりの日	8	6	技術講習会	7	5	2 4DFFSymposium	7	4	8	7	
金	7	5 こどもの日	9	7	技術講習会	8	6	3 文化の日	8	5	9	8	
土	8	6	10	8	5	9	7	4	9	6	10	9	
日	9	7	11	9	6	10	8	5	10	7	11 憲国記念の日	10	
月	10 262号発送	8	12 263号発送	10	7	11	9 スポーツの日	6	11 266号発送	8 成人の日	12 振替休日	11	
火	11	9	13	11	8	12	10 265号発送	7	12	9	13 267号発送	12	
水	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14 理事会	13	
木	13	11	15	13	10 264号発送	14	12 理事会	9	14	11	15	14	
金	14	12	16	14	11 山の日	15	13	10	15	12	16	15 理事会	
土	15	13	17	15	12	16	14	11	16	13	17	16	
日	16	14	18	16	13	17	15	12	17	14	18	17	
月	17	15	19	17 海の日	14	18 敬老の日	16	13 ICJFall	18	15	19	18	
火	18	16	20	18	15	19	17	14 ICJFall	19	16	20	19 春分の日	
水	19	17	21	19	16	20	18	15	20	17	21	20	
木	20	18	22	20	17	21	19	16	21	18	22	21	
金	21	19 関西シンポジウム	23	21 理事会	18	22 視覚と画像基礎講座	20	17	22 理事会	19 技術委員会総会	23 天皇誕生日	22	
土	22	20	24	22	19	23 秋分の日	21	18	23	20	24	23	
日	23	21	25	23	20	24	22	19	24	21	25	24	
月	24	22	26	24	21	25	23	20	25	22	26	25	
火	25	23	27	25	22	26	24	21	26	23	27	26	
水	26	24	28 ICJ2023	26	23	27	25	22	27	24	28	27	
木	27	25	29 ICJ2023	27	24	28	26	23 勤労感謝の日	28	25	29	28	
金	28	26 理事会	30 ICJ2023	28	25	29	27	24	29	26 視覚と画像基礎講座		29	
土	29 昭和の日	27		29	26	30	28	25	30	27		30	
日	30	28		30	27		29	26	31	28		31	
月		29		31 視覚と画像基礎講座	28		30	27		29			
火		30			29		31	28		30			
水		31			30			29		31			
木					31			30 視覚と画像基礎講座					

(3) 2023年度予算案

2023年度収支予算案

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般社団法人 日本画像学会

(単位:円)

科 目	2023年度予算額	2022年度決算額	2022年度当初予算	22年度予算との差異	
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
特 定 資 産 運 用 収 入	2, 500	587	2, 500	0	
会 費 収 入	17, 550, 000	17, 838, 561	18, 450, 000	-900, 000	
正 会 員 会 費 収 入	5, 000, 000	4, 870, 679	5, 600, 000	-600, 000	会員数減少の歯止め
維 持 会 員 会 費 収 入	12, 500, 000	12, 710, 522	12, 800, 000	-300, 000	口数維持
4 D F F 収 入	50, 000	257, 360	50, 000	0	
事 業 収 入	9, 060, 000	11, 004, 042	8, 760, 000	300, 000	
研 討 ・ 研 究 会 参 加 費	4, 500, 000	4, 066, 000	4, 400, 000	100, 000	オンライン想定、22年実績より増
講 習 会 参 加 費	2, 200, 000	2, 092, 000	1, 800, 000	400, 000	オンライン想定、対面併用もあり
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	1, 500, 000	2, 950, 410	1, 500, 000	0	標準キャリア頒布のみに戻る
予 稿 集 ・ 技 術 資 料 頒 布 収 入	50, 000	45, 160	50, 000	0	
出 版 物 頒 布 収 入	10, 000	0	10, 000	0	イベントでの頒布見込小
会 誌 購 読 ・ B N 頒 布 収 入	300, 000	738, 140	500, 000	-200, 000	上期実績から
広 告 収 入	500, 000	330, 000	500, 000	0	
4 D F F 研 究 会 収 入	0	782, 332	0	0	
受 取 の 利 息 収 入	0	257	0	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	30, 083	0	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	30, 083	0	0	
事業活動収入計	26, 612, 500	28, 873, 530	27, 212, 500	-600, 000	
2. 事業活動支出					
事 業 費 支 出	15, 110, 000	14, 456, 649	15, 110, 000	0	
会 誌 発 行 費	7, 000, 000	7, 177, 287	7, 800, 000	-800, 000	年6回発行、22年度実績より
4 D F F ジャーナル発行費	100, 000	0	100, 000	0	一昨年実績から
研 討 ・ 研 究 会 開 催 費	2, 000, 000	1, 370, 315	2, 500, 000	-500, 000	オンライン想定、経費縮小
講 習 会 開 催 費	1, 000, 000	1, 086, 311	1, 000, 000	0	オンライン想定、経費縮小
試 験 標 準 品 作 製 費	350, 000	2, 017, 400	700, 000	-350, 000	22年度実績からチャージ分除く
出 版 物 作 製 費	2, 000, 000	29, 040	200, 000	1, 800, 000	新規出版の学会負担金
デ ジ タ ル 製 作 費	800, 000	997, 860	800, 000	0	
学 会 員 賞 費	660, 000	324, 786	660, 000	0	
諸 委 員 会 ・ 総 会 費	100, 000	6, 776	100, 000	0	オンライン想定
理 事 会 ・ 評 議 員 会 ・ 総 会 費	50, 000	35, 301	50, 000	0	オンライン想定
国 際 会 議 関 係 支 出	0	1, 073, 343	160, 000	-160, 000	国際会議無し
4 D F F 研 究 会 支 出	1, 000, 000	338, 230	0	1, 000, 000	22年度実績を踏まえ
国 際 交 流 支 出	50, 000	0	50, 000	0	
管 理 費 支 出	12, 310, 000	12, 020, 519	11, 910, 000	400, 000	
通 信 運 務 搬 送 費	450, 000	378, 624	450, 000	0	オンライン想定
事 務 機 械 費	1, 500, 000	1, 493, 239	1, 300, 000	200, 000	
事 務 機 械 費	9, 800, 000	9, 696, 973	9, 800, 000	0	対面イベントに備える
事 務 機 械 費	400, 000	328, 513	200, 000	200, 000	
租 税 公 課 費	100, 000	63, 070	100, 000	0	新型コロナ対策費等
管 理 税 公 課 費	0	600	0	0	
法 人 税 等 支 出	60, 000	59, 500	60, 000	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	70, 000	70, 000	70, 000	0	
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	-2, 790	0	0	
事業活動支出計	27, 490, 000	26, 544, 378	27, 090, 000	400, 000	
事業活動収支差額	-877, 500	2, 329, 152	122, 500	-1, 000, 000	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0	0	
2. 投資活動支出					
投資活動支出					
投資活動支出計	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	
2. 財務活動支出					
財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	
当期収支差額	-877, 500	2, 329, 157	1, 112, 500	-1, 990, 000	
前期繰越収支差額	34, 797, 158	32, 468, 001	32, 468, 001	2, 329, 157	
次期繰越収支差額	33, 919, 658	34, 797, 158	33, 580, 501	339, 157	